

部 局 経 営 方 針

平成 2 1 年度

薩摩川内市

部局名	総務部 危機管理監【防災安全課】	部局長名	新屋 義文
-----	------------------	------	-------

部局内の 経営資源	当初予算	4.8億円		
	構成人員	職員	嘱託	計
9人		1人	10人	

部局の使命 (組織の存在価値)	危機管理監(防災安全課)の使命は、市民の生命、身体及び財産を守るため、地域防災力の向上及び危機管理意識の高揚に努め、災害に強く、誰もが安全で安心して暮せるまちづくりを市民と協働して推進することである。	組織目標像	<p>【施策の目標像】<3年後></p> <p>(1) 市民の安全、安心を確保するため、防災関係機関、事業者、地区コミュニティ協議会等との連携、協力関係を確立し、災害等に対する迅速で的確な対応ができています。</p> <p>(2) 一斉放送のできる防災行政無線の整備により、迅速かつ適切な防災情報の提供を行っている。</p> <p>(3) 地域による防災、防犯の体制が確立している。</p> <p>【組織の目標像】<3年後></p> <p>(1) 説明責任を果たせる職員、組織</p> <p>(2) あらゆる災害等に即応できる危機管理対応力の高い職員、組織</p>
--------------------	--	-------	--

平成 2 1 年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容

重点事項	具体的な成果目標(めざそう値)	具体的な取組内容	進捗状況(年度中間)	年度末の達成状況
危機管理体制の整備	(1) 全課室による危機事象に対する危機管理マニュアルの策定	所管課に対する策定指導 不当要求対処研修会の開催	マニュアルの策定 ・策定喚起の通知を準備中 (策定累計 21件) 研修会の実施 ・11月25日開催予定 (内容:管内の暴力団情勢, 不当要求行為の事例及び対処要領, 刺股操法)	マニュアルの策定 本年度策定件数 14件 (策定累計 35件) 研修会の実施 ・11月25日に実施し, 57名出席 (内容:管内の暴力団情勢, 不当要求行為の事例及び対処要領, 刺股操法)
交通安全・防犯対策の推進	(1) 市交通安全計画目標値の達成 ・事故発生件数 500件以下 ・死者数 6人以下 ・負傷者数 630人以下 【参考】平成 21 年 10 月 25 日現在	交通安全教室(いきいき・ゆうゆうスクール, 県交通安全指導車による教室)の実施	交通安全教室の実施 ・いきいきスクール(3回開催, 82名参加) ・ゆうゆうスクール(4回開催, 32名参加)	・事故発生件数 519件(+19) ・死者数 4人(-2) ・負傷者数 642人(+12) ()は目標値との比較 交通安全教室の実施

部 局 経 営 方 針

平成 2 1 年度

薩摩川内市

	<ul style="list-style-type: none"> ・事故発生件数 426 件 ・死者数 2 人 ・負傷者数 525 人 		<ul style="list-style-type: none"> ・県さわやか号・ひまわり号による交通教室 (23 回開催, 1,105 名参加) 	<ul style="list-style-type: none"> ・いきいきスクール... 3 回開催, 79 名参加 ・ゆうゆうスクール... 9 回開催, 75 名参加 ・県さわやか号・ひまわり号による交通教室... 50 回開催, 2,377 名参加
	<p>(2) 市内における刑法犯件数及び子どもへの声かけ事案件数の前年発生以下の達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主防犯組織の新規設立数 5 団体 ・防犯パトロール車の新規登録数 15 台 	<p>地区コミュニティ協議会への自主防犯組織結成の呼びかけ</p> <p>地区コミュニティ協議会への青パト配備の推進</p> <p>職員に対する青色防犯パトロール講習会の開催 (受講者目標: 50 人)</p>	<p>自主防犯組織の結成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度設立数 3 団体 (累計 33 件) 青パト配備 ・本年度登録数 12 台 (累計 119 台) 青パト講習会 ・7月9日開催, 60 名が受講 (職員の青パト登録者数 563 名) 	<p>自主防犯組織の結成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度設立数 3 団体 (累計 33 件) 青パト配備 ・本年度登録数 36 台 (累計 143 台) 青パト講習会 ・7月9日開催, 60 名が受講 (職員の青パト登録者数 563 名)
<p>防災体制の強化</p>	<p>(1) 防災情報伝達手段の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋外拡声子局による一斉又は地区指定放送及び地区コミュニティ協議会からの放送システムの確立..... 9 月からの本格運用 ・戸別受信機の設置 7,600 台 	<p>防災行政無線の適正な運用のための運用マニュアル及び自治会放送の可能なシステムの選定及び維持管理・運用要領の作成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹部完成に伴い10月1日に開局式を挙行し本格運用開始。 ・本格運用に伴い地区コミュニティ協議会からの放送可能。 ・戸別受信機の整備については,機種選定に向けた調査・検討中。 	<p>基幹部整備については 施工を延期していた1局が竣工し,予定の屋外拡声子局整備が完了</p> <p>戸別受信機の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機種選定を行い,整備設計・電波伝搬調査業務委託契約を締結し,設置工事に向けた事業に着手
	<p>(2) 地域防災力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織の結成率 85% ・出前講座開催 30 回 ・自主防災組織の訓練実施率 30% 	<p>消防局との連携による出前講座, 訓練の実施</p> <p>地域防災リーダー養成講座の開講</p>	<p>自主防災組織結成率 85.7% (10月1日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座開催 4 回 ・訓練実施 62 回 ・訓練実施率 17.0% <p>9月5, 6, 12日の3日間養成講座を開講。(受講者: 39 名, 防災士合格: 22 名)</p>	<p>自主防災組織結成率 86.6% (H22.3.1 現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座開催 4 回 ・訓練実施回数 115 回 ・訓練実施率 31.3% <p>地域防災リーダー養成講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・39 名受講, 22 名防災士合格

部 局 経 営 方 針

平成 2 1 年度

薩摩川内市

	(3) 災害時要援護者避難支援計画の策定.....全体計画 1 0 月末	要支援者避難個別計画の作成に向けた関係機関との調整	関係機関の代表者 8 名を策定委員として依頼し、関係機関との調整に着手。1 2 月末までに全体計画の策定完了予定。	災害時要援護者避難支援計画全体計画を策定 (H22.2.1) し、個別支援計画作成に向けた関係機関等との調整を開始
	(4) 指定避難所の見直し	災害種別に応じた指定の検討 施設の立地条件に応じた指定の見直し バリアフリー化 洋式トイレ等の施設実態調査及び改善策の検討	バリアフリー化、洋式トイレ等の施設実態調査を実施。	指定避難所の見直し ・自治公民館等の民間施設を指定避難所として開設した場合の使用料を 2 2 年度予算に措置 ・自治会等からの要望及び職員配置等を考慮し、2 2 年度避難所指定に向け、調整中 バリアフリー化等 ・改善整備計画の策定に向けた手順等の調査、検討中
	(5) 災害応急時支援協定の締結目標.....3 件締結	市内大型店舗との衣糧、生活物資に係る支援協定の締結	1 0 月 2 日、東郷ゆったり館を協定避難所として協定締結した。	市内大型店舗及び必要品目の洗出し作業中
国民保護計画の推進	(1) 避難計画の策定...年度内	事象別避難計画の策定	事象別避難計画案の基本パターン作成中	避難実施要領パターンの 6 ケースを作成
年度中間総括	<ul style="list-style-type: none"> ・上半期においては、災害警戒本部等を設置して対応すべき災害が幸いにしてなかったところであるが、今後も、市民への気象・防災情報の適時、的確な提供に努め、市民の皆様の安全、安心の確保に寄与していきたい。 ・懸案であった防災行政無線デジタル化整備事業については、基幹部（親局から屋外放送塔まで）が完成し、本格的に運用を開始できた。今後は、引き続き自治会放送を可能とする戸別受信機の設置に向け、事業を推進する。 ・その他の事業について、一部の事業に若干の遅れはあるものの、成果目標の年度内達成に向け、課題を整理しながら取り組んでいきたい。 			
年度末総括	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 2 1 年度においても、危機管理体制の整備、交通安全・防犯対策の推進、防災体制の強化等を行い、一部の事務、事業について目標を達成できなかったものの、市民の安全、安心の確保のための地域防災力の向上や危機管理意識の高揚に貢献できた。 ・なお、現在の防災安全課の最大の事業である防災行政無線・戸別受信機の設置・整備については、機種選定に不測の期間を要したことから、平成 2 1 年度に予算措置した 7, 6 0 0 台分について整備できなかったところであり、平成 2 2 年度においては 2 年度分の予算措置に係る戸別受信機の設置を課員一丸となって進めることとしたい。 ・防災体制の強化として掲げる自主防災組織の結成促進等については、組織率の目標達成と同時に、訓練実施率についても目標を達成できたところであり、今後においても、訓練実施に対する指導や協力、組織運営の指導等を行い、実効性の高い組織づくりに寄与したい。 			

部 局 経 営 方 針

平成 2 1 年度

薩摩川内市

- ・災害時要援護者避難支援計画については、全体計画を策定したところであるが、今後、高齢化の進展等によりゴールド集落が増加することが予想され、いかに避難させることができるかが最大の課題となることから、災害時要援護者ごとに避難等補助者を決め、避難方法等を定める「個別支援計画」を関係機関と協働して早急に作成できるよう事務を進めたい。
- ・交通安全・防犯対策では、市内における交通事故発生件数及び犯罪発生件数が依然として多いことから、今後なお一層、関係機関や地区コミュニティ協議会、自治会等と連携して、いわゆる「市民総ぐるみ」の活動を展開していきたい。
- ・最後に、平成 1 8 年の県北部豪雨災害以降、幸いにも大きな災害が発生していないところであるが、油断、安心することなく、「居安思危（こあんしき）= 安きに居りて危きを思う」を防災・危機管理の心得として、平常時から災害や危機事象に対する体制を整備していきたい。